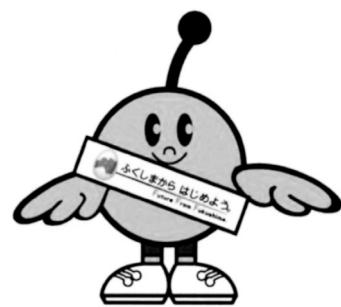




ふくしまから  
はじめよう。



## 注意

- 1 指示があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は **1** から **5** まであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
- 4 解答は、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは、消しゴムできれいに消しましょう。
- 5 解答時間は 60 分です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。
- 6 解答用紙には、地区名、学校名、学年、受付番号、氏名をまちがいのないように書きましょう。
- 7 問題用紙の印刷が見にくいとき、ページがぬけていたり汚れていたりしたとき、解答用紙が汚れていたときは、手をあげて近くの先生に知らせてください。

最後まで、あきらめずに  
チャレンジしましょう。



福島県教育委員会

1

次の(1)～(3)の各問い合わせに答えなさい。

(1) 次の式の ア, イ にあてはまる数を答えなさい。

$$1^3 = 1$$

$$2^3 = 3 + \boxed{\text{ア}}$$

$$3^3 = 7 + \boxed{\text{イ}} + 11$$

(2) 次の式の ウ ~ キ にあてはまる5つの続いた奇数を、小さい順に  
答えなさい。

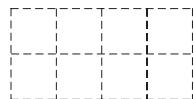
$$5^3 = \boxed{\text{ウ}} + \boxed{\text{エ}} + \boxed{\text{オ}} + \boxed{\text{カ}} + \boxed{\text{キ}}$$

(3)  $50^3$  は、50個の続いた奇数の和に等しくなります。このとき、50個の  
続いた奇数の中で、最も小さい数と最も大きい数をそれぞれ求め、答えなさい。

2

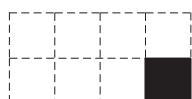
下の〈図1〉のように、8つのマス目があります。

〈図1〉



この8つのマス目に、■(黒の正方形)と□(白の正方形)を下のような規則で組み合わせていき、8つのマス目がすべて■(黒の正方形)の図になるまで続けます。

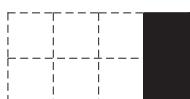
このとき、次の(1)～(3)の各問い合わせに答えなさい。



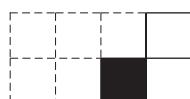
1番目



2番目



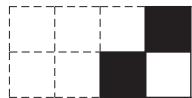
3番目



4番目



5番目



6番目



7番目



8番目



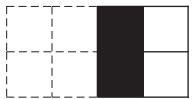
9番目



10番目



11番目



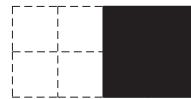
12番目



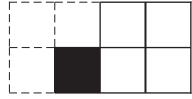
13番目



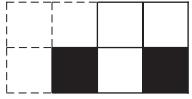
14番目



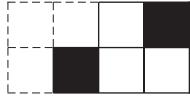
15番目



16番目



17番目



18番目



19番目



20番目

- (1) ■(黒の正方形)と□(白の正方形)を組み合わせた図が、右の〈図2〉になるのは何番目ですか、答えなさい。

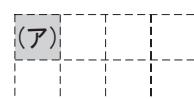
〈図2〉



- (2) ■(黒の正方形)と□(白の正方形)を組み合わせた100番目の図を、解答欄に書きなさい。

- (3) 右の〈図3〉のマス目(ア)が、■(黒の正方形)になる図は何番目から何番目ですか、答えなさい。

〈図3〉



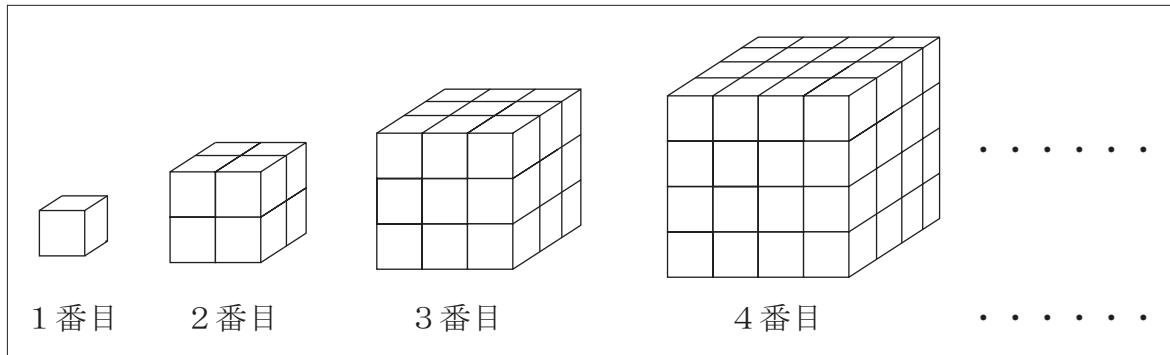
3

下の〈図〉のように、同じ積み木を積み重ねて立方体をつくり、1番目、2番目、3番目、4番目、……の順序で並べていきます。

積み重ねてできた各立方体の6面すべてに色を塗ったとすると、3番目以降の立方体では、色が塗られた面の数が3つ、2つ、1つ、0となる積み木ができます。

このとき、次の(1)～(3)の各問い合わせに答えなさい。

〈図〉



(1)  $n$ 番目の立方体をつくるのに必要な積み木の個数を、 $n$ を用いた式で表しなさい。

(2)  $n$ 番目の立方体で、色が塗られた面の数が2つである積み木と1つである積み木の個数を、それぞれ $n$ を用いた式で表しなさい。

ただし、 $n$ は3以上の自然数とします。

(3) 10番目の立方体では、色が塗られた面の数が1つか0である積み木は全部で何個ありますか、答えなさい。

## 4

最初に棚の上に100個のりんごを1列に並べ、左から数えて奇数番目にあるりんごをすべて取り除きます。次に、残っている50個のりんごから、新たに左から数えて奇数番目にあるりんごをすべて取り除きます。

この作業を繰り返していくとき、次の(1)～(3)の各問に答えなさい。



(1回) ↓ 左から数えて奇数番目のりんごを取り除く



(2回) ↓ 新たに左から数えて奇数番目のりんごを取り除く



↓  
⋮  
(?回) ↓



(1) 最初に棚の上にあった100個のりんごから、3回りんごを取り除いたとき、

残っているりんごは何個ありますか、答えなさい。

(2) 棚の上のりんごが1個になるまで取り除いたとき、残っているりんごは、最初に100個並べたときに、左から何番目にあつたりんごですか、答えなさい。

(3) 最初に棚の上に並べるりんごを1000個にして、8回りんごを取り除いた場合について考えます。

次の①、②の各問に答えなさい。

① 残っているりんごは何個ですか、答えなさい。

② 残っているりんごは、最初に1000個並べたときに、左から何番目にあつたりんごですか、すべて答えなさい。



5

きびたん中学校のバスケットボール部が試合を行ったところ、見事勝利しました。その試合で、きびたん中学校の全得点の  $\frac{1}{4}$  をAさんが、 $\frac{1}{6}$  をBさんが、 $\frac{1}{8}$  をCさんが得点し、途中から出場したDさんが9点をあげ、他の選手全員できびたん中学校の全得点の  $\frac{1}{3}$  を得点しました。

このとき、次の（1）～（3）の各問い合わせに答えなさい。

（1）きびたん中学校の全得点は何点ですか、答えなさい。

（2）Aさん、Bさん、Cさんの3人の得点はそれぞれ何点ですか、答えなさい。

（3）バスケットボールのシュートには、得点により3点シュート、2点シュート、1点シュート（フリースロー）の3種類があります。

下の□は、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人の得点について、シュートの種類や本数などを説明したものです。

このとき、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人が、3点シュート、2点シュート、1点シュートをそれぞれ何本決めたかを求め、下の〈表〉の中の①～⑫にあてはまる数を答えなさい。

- ・AさんとCさんの3点シュートの本数は同じである。
- ・Cさんは、Bさんより多くの3点シュートを決めた。
- ・4人のうち1人は、すべての得点が3点シュートである。
- ・1点シュートの本数は、4人合わせて4本である。
- ・Aさんは、4人の中で一番多くの1点シュートを決めた。
- ・Cさんは、Dさんより多くのシュートを決めた。

〈表〉

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
3点 シュート	① 本	② 本	③ 本	④ 本
2点 シュート	⑤ 本	⑥ 本	⑦ 本	⑧ 本
1点 シュート	⑨ 本	⑩ 本	⑪ 本	⑫ 本

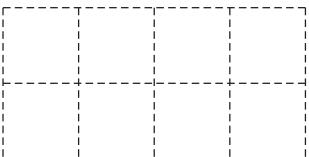
平成25年度 福島県数学ジュニアオリンピック 解答用紙

地区		学年		受付番号		氏名	
	中学校						

1

(1)	ア		イ			
(2)	ウ	エ	オ	カ	リ	キ
(3)	最も小さい数			最も大きい数		

2

(1)	番目	(2)		(3)	番目から	
						番目まで

3

(1)	個				
(2)	2つである積み木の個数	個	1つである積み木の個数	個	
(3)	個				

4

(1)	個	(2)	番目		
(3)	①	個	②		

5

(1)	点					
(2)	Aさん	点	Bさん	点	Cさん	点
(3)		Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	
	3点 シュート	① 本	② 本	③ 本	④ 本	
	2点 シュート	⑤ 本	⑥ 本	⑦ 本	⑧ 本	
	1点 シュート	⑨ 本	⑩ 本	⑪ 本	⑫ 本	

点数・賞

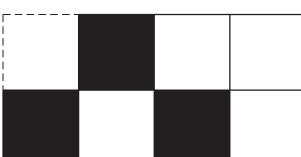
点

# 平成25年度 福島県数学ジュニアオリンピック 解答例

1

(1)	ア	5	イ	9						
(2)	ウ	2 1	エ	2 3	オ	2 5	カ	2 7	キ	2 9
(3)	最も小さい数 2 4 5 1			最も大きい数 2 5 4 9						

2

(1)	3 2 番目	(2)		(3)	1 2 8 番目から 2 5 5 番目まで
-----	--------	-----	--	-----	--------------------------

3

(1)	$n^3$ 個	
(2)	2つである積み木の個数 12(n-2) 個	1つである積み木の個数 6(n-2) <sup>2</sup> 個
(3)	8 9 6 個	

4

(1)	1 2 個	(2)	6 4 番目
(3)	① 3 個	②	2 5 6 番目 , 5 1 2 番目 , 7 6 8 番目

5

(1)	7 2 点				
(2)	Aさん 1 8 点	Bさん 1 2 点	Cさん 9 点		
(3)		Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
	3点 シュート	① 2 本	② 1 本	③ 2 本	④ 3 本
	2点 シュート	⑤ 5 本	⑥ 4 本	⑦ 1 本	⑧ 0 本
	1点 シュート	⑨ 2 本	⑩ 1 本	⑪ 1 本	⑫ 0 本